

## 令和5年度 第3回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和6年3月4日 18時00分～19時30分
場 所	桜島支所 2階大会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、さくらじま地域おこし協力隊、事務局
会 次 第	<p>○協議事項</p> <p>① 令和5年度事業報告及び令和6年度事業展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の飲食店等連携による事業</li> <li>・改新地域空き家活用事業</li> <li>・デジタルサポート事業</li> </ul> <p>②次期計画（令和7年度以降）について</p>
主な意見等	<p>① 令和5年度事業報告及び令和6年度事業展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の飲食店等連携による事業</li> </ul> <p>【各委員からの意見】</p> <p>○ マルシェは県外からの来客もあり桜島に行くことを目的としたイベントとして大成功だった。</p> <p>○ マルシェ当日、参加事業者は忙しく本来の目的である事業者間の連携が図れていなかった。事前の打ち合わせの段階から連携を図ることが必要。</p> <p>○ 参加できなかった事業者や他種事業者にもイベントの好結果を発信し事業者間で新たな取り組みが生まれればよい。</p> <p>○ 事業者主体で開催し継続したいが、開催方法や手段を構築しなければならない。</p> <p>○ イベントが定着すれば地元住民からも発信できるので、ぜひ定着させたい。</p> <p>【地域活性化アドバイザー】</p> <p>○ 飲食店等の連携が曖昧にならないよう可能なことから連携を始め、行政が絡まなくても飲食店等同士で情報交換ができるようになると良い。</p> <p>○ このイベント目的での来客もあった。月1回など定期的に開催できるようになれば定着化して桜島に行く目的にも繋がると思う。</p> <p>・改新地域空き家活用事業</p> <p>【各委員からの意見】</p> <p>○ 改新コミュニティ協議会として運営に携っているが、長期宿泊者から移住体験してみて桜島の魅力が分かったと聞いた。桜島らしい暮らしに触れたとき心が動くのだと感じた。</p> <p>○ 今の体験メニューのほかにも、繁茂した草木や竹の伐採など地域で困っている問題を解消する体験を地域と一緒にできれば良いと思う。</p> <p>【地域活性化アドバイザー】</p> <p>○ この施設を利用する方々は観光ではなく暮らしに触れることで新たな価値観を発見するのが目的であると思う。それを満たすコンテンツが必要になるので、地域の方々と協力して作っていただきたい。</p> <p>○ 素晴らしい施設が完成している。桜島にはない違う空間を味わえると思う。宿泊が空いているときには地域の方々に集まってもらってその空間を体験するなどしていただきたい。</p> <p>・デジタルサポート事業</p> <p>【各委員からの意見】</p> <p>○ スマホ教室はスマホ未経験者への導入には大変良かったと思う。今後は個人の機種に対応するためのサポーターのスキルアップが必要だと思う。</p> <p>○ スマホ教室はスマホの面白さを分かってもらえて、持ってみて楽しいと思ってもらえるのがいい。ただ、ある程度の経験を積むと人によって分からないところが違</p>

ってくる。

②次期計画（令和7年度以降）について

【協力隊からの意見】

- デジタルサポートは継続してやるべきことである。飲食店等の連携は1期では連携を図り強化していく、2期では自走化のために取りまとめる人材の育成をしてみてもどうだろうか。
- 新しい事業として交通弱者のための移動式の飲食店や食料販売など展開してみるのはどうだろうか。
- 空き家活用は1期で関係人口と定住人口を拡大するために移住体験施設を開所して、2期では移住体験の次のステップが必要と思われる。空き家マッチングの充実、移住できる空き家の確保につなげていける展開ができればと思う。

【各委員からの意見】

- 本年9月以降にバスが減便になる（東地域）。他市で行っている例を参考に島内の交通事情を考えてみてはどうだろうか。
- デジタル化の推進について桜島支所の公式LINEがあれば島内外へ事業の発信ができ地域の活性化につながる。交通問題を解消するためにも必要だと思う。

【地域活性化アドバイザー】

- 飲食店等の連携において、マルシェは手段であって目的は連携を強化していくこと。連携を図った後にどうしていくかが重要で、手段や目的を増やしていくことが必要だと思う。
- 過疎が進む地域ではデジタル化で利便性がだいぶ違ってくる。デジタルサポーターは10～15年後を見据え初期投資のつもりで事業を継続すると良い。
- 次期プランを考える上で、桜島地域は高齢化が進んでいるが元気な地域だと思われるような楽しいプラン作りが出来ればよい。